

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城キリスト教大学で講演する辻本執行役員



常磐大学で講話する沼田社長



常磐大学で講話する根本社長



青年経営研究会視察「海上自衛隊・第1術科学校(旧海軍兵学校跡)」にて



茨城経協

CONTENTS

01 寄付講座(茨城キリスト教大学・常磐大学)講演録

- ・「小売業の現状と課題について」
株式会社カスミ 執行役員業務企画本部マネジャー兼
経理財務部マネジャー 辻本 英史氏
- ・「働くとは？」
株式会社ビジネスコンサルタント
代表取締役社長 根本 雅之氏
- ・「成長戦略と地方との共生」
株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック
代表取締役社長 沼田 邦郎氏

04 委員会報告

産業政策委員会／経営教育委員会／総務委員会／環境委員会／
科学技術委員会／青年経営研究会

08 支部報告

県内5地区・産学懇談会・名刺交換会／共通セミナー

09 新入会員の紹介

10 出向者退任・着任のお知らせ

11 寄稿「労働相談から見える職場のトラブル」

＜茨城労働局 雇用環境・均等室 室長補佐 大久保一樹氏＞

13 NPO情報Vol.226＜茨城NPOセンター・commons代表理事 横田能洋氏＞

小売業の現状と課題について

株式会社カスミ執行役員 業務企画本部マネジャー兼経理財務部マネジャー **辻本 英史** 氏



当社は1961年に創業し、2019年2月末現在茨城県主体に店舗数188店舗を展開するスーパーマーケットです。創業から約60年を経過する中でお客様の喜び・地域の喜び・従業員の満足度を高められる100年企業を目指して、経営に臨んでいます。また、2019年は、であい・ふれあい・地域愛を企業メッセージに掲げ、創業以来の「お客様のために」と言う企業理念と経営理念、経営方針を基に、「よろこびを分かち合える食卓づくり」を使命とし、魅力あるベストローカルスーパーマーケットを創るため全従業員一同が理念に基づき行動しております。

小売業を取巻く環境は、少子高齢化により全国と比較すると影響は小さいものの、北関東圏の人口は減少傾向にあり、世帯数も間もなくピークアウトする

と言われていています。世帯数が減ると消費支出も減少し、「何処で買うか？」についても構造が大きく変化しております。リーマンショック以降、コンビニ、ドラッグストアの台頭が目立ち、それに加えてアマゾン等のECが急激に力を増しており、小売業界内の競合は益々激化しております。

小売業が顧客に提供する価値は顧客ニーズの理解、利便性の提供、調達・在庫調整機能の3機能ですが、ICT、デジタル化が急速に進歩している中で、旧来の人海戦術では対応は限界が近づいております。今後は、AI、ビッグデータ等を駆使して購買などのデータを識別、予測、最適化し、それを基にどういった戦略を練っていくのかを、小売業に限らず、業態を超えた企業間でのアライアンスを形成し対

応する必要があります。また、キャッシュレス化、無人店舗化、自動倉庫システム、ドローン等を利用した決済・店舗・物流等への対応をどう進めていくかが重要な課題となってくると考えます。

今後は、既存事業戦略の延長線上の推進・改善ではなく、リアルな店舗の強みとECの強みを融合し、新たなモデルを創造するといったビジネスモデルそのものの大きな変革が必要と考えます。例えば物品販売だけでなく食生活上の課題解決や、更には行政等との連携による生活支援インフラを提供する企業への転換などが求められています。

学生の皆様も、これを機に全く新しい発想で、リアルとネットの融合の狭間で将来どのような小売業が出来るのかを考えてみて下さい。

働くとは？

株式会社ビジネスコンサルタント 代表取締役社長 根本 雅之 氏



学生と社会人の違いは何か。それは、“守られている人”から“支える側の人”になることである。学生は“支える側の人になる”ための基礎を学ぶことが本分である。すなわち、法律、ルールを学ぶこと、自らの力でプレ生活をする、会社や自分がより良くなるための組み立て方を学ぶことである。

さらに、“社会人になる”とは、働いて収入を得て、自らの力で生活をし、税や社会保険料を負担することである。所得税、住民税、社会保険料、年金保険料等を負担することになる。税は一度国家が集め、国家が日本国民を等しく幸せにすることを考えて、国民に分配する。

それでは、会社（公務員も含む）とは何だろうか。国も会社も社会に一翼を担うという点で、目的は同じである。会社は第2

の国家といえる。また、「働く」とは、傍（はた）を楽にすることである。つまり、周りの人を楽にすることで、感謝されることになる。

給料はどうやって決まるのだろうか。“働く”ことに対する対価が給料である。つまり、給料を多くもらうことは、会社に貢献していることであり、お客様により多く感謝されていることである。では、給料はどうすれば上がるのだろうか。アルバイトは、時間のみで給与が決まる。さらに、法律では時間で給与が決まると定めている。しかし、実際の企業では、時給1,000円もあれば、時給5,000円もある。時給1,000円だと年収では200万円程度である。これでは生活がおぼつかない。社会人として生活するには時給3,000円程度は必要である。時給3,000円に

なるためにはどうすればよいだろうか。経験年数も影響する。しかし、たとえばメガバンクは40歳を越えると多くの行員は銀行に残れず、他社に出向しなければならない。また、トヨタも年功序列は難しいと考え始めている。したがって、経験年数だけで給料が上がるとはいえない。

次に資格はどうだろうか。最難関の国家資格は、弁護士と公認会計士である。しかし、たとえば弁護士と言っても実際の年収は様々である。したがって、資格そのもので年収が決まるわけではない。結論的には、給料は、「価値の創造」にどれだけ貢献したかによって決まるのである。

では、どうすれば価値の創造ができるのだろうか。例えば、宅配便は大変便利なサービスである。配達先が不在であれば、何度も訪問して届ける。このような高い価値のサービスに対しては、料金の値上げが可能になる。これが価値の創造である。価値を創造することで利益が生まれ、給料が増加する。

みなさんには、大学時代、昨日より今日、今日より明日、どうすればよくなるかを考え続けることが価値創造の力、給料を上げる力になることを意識して学んでいってもらいたい。

成長戦略と地域との共生

株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック 代表取締役社長 沼田 邦郎 氏



水戸ホーリーホックはJ2リーグに所属。そのため、J1昇格の可能性と、J3降格の危険性を常に孕んでおります。したがって、経営基盤の安定はもちろんのこと、収入増による経営規模の拡大が必須であり、これが成功し、J1昇格ともなれば、水戸ホーリーホックにとどまらず、地域への波及効果は大きくなります。

ホーリーホックの意味は、英語の「葵」を意味し、水戸藩（水戸徳川家）の家紋の葵から採られました。クラブエンブレムは、水戸藩の家紋である「三つ葉葵」の外周を龍が囲む円形龍を模しており、2代目水戸藩主の徳川光圀の字「子龍」に由来します。

水戸ホーリーホックの方針は「育成」であり、選手を育て、優れた技術と人としての人格の育成を目指しております。つまり、サッカーの能力を向上させることだけではなく、人として良く生きるための人間力の向上を図り、サッカー「も」できる少年少女たちを育てることです。

選手を長く続けられる能力で

最も割合の大きいものは「人間力」であり、そのための重要な5つの要素は「傾聴力・主張力・忍耐力・自己啓発力・推進力」である。なかでも傾聴力と主張力が重要であると考えております。

水戸ホーリーホックでは、サッカーは人を育てるという観点から、規律と正しい生活習慣を身につけ、それを自立につなげるということ。さらに、コーチングによって、目標を達成するために必要となる個々の能力を引き出すということに重点を置いております。

現在、トップチームの選手たちには、毎週木曜日に2時間講義（Make Value Project）を行っております。これは、サッカーエリートとして常に周囲の脚光を浴びながら生きてきた選手は、限られたコミュニティや人としか接しておらず、社会性や一般教養が身につけにくい環境であることが問題視されております。

本来スポーツには人間性を育み、どの世界でも通用するポータブルなスキルが身につく価値があ

りますが、過去の慣習や勝利至上主義によりおごなりにされています。この現状をいかにクラブが一步前に踏み出し、スポーツの価値を高め、多様化する社会に浸透させることができるかが非常に重要だと捉えています。

水戸ホーリーホックは、選手に異業種の方々の価値観や使命感に触れさせ続けることで、プロアスリートとしての職業価値や地域における社会的な存在価値の高さに気づく選手を一人でも多く輩出していきたいと考えております。選手一人ひとりの成長に真剣に向き合い、全力で選手支援を行なって参ります。

水戸ホーリーホックは、ホームタウン活動で地域の皆様のお役に立ち、ホスピタリティーによって観客数を増やし、プロモーションによってクラブに関わるすべての方々と夢を共有し、多くの皆様の応援や支援に対する感謝をしながら、弊社の理念である「夢と感動と一体感の共有に向けて、地域に根差し、地域と歩み、地域に貢献し、地域と共に発展します」の実現に向けて、「地域の皆様に愛されるクラブ」を目指し、地域貢献活動に取り組んでまいります。

結びに、学生の皆さんには「夢」を持って欲しい。「大人になっても夢は叶う」ということを、周りの子どもたちに見せてあげられる大人になっていただきたい。努力をすれば夢が叶うものではなく、夢が叶うまで努力を続けることが大切であると伝えたい。

産業政策委員会

第1回産業政策委員会を開催

産業政策委員会（委員長 鈴木康夫氏（株）小松製作所執行役員生産本部茨城工場長）は、6月19日（水）、経営者協会会議室において、第1回産業政策委員会を開催した。

開催にあたり、鈴木委員長より、「本日は、令和元年度の県政要望案について協議を行うので、会員企業のニーズを的確に反映した県政への提言・要望となるよう、忌憚のない意見をいただき、活発な討議をお願いしたい。」との挨拶がなされた。

議事では、令和元年度の活動予定、令和元年度会員ニーズアンケート調査結果（回答率40.3%）についての事務局報告

後、令和元年度県政要望案についての協議がなされ、出席者からは、

- ①スマートIC増加の迅速化等インフラ整備
- ②外国人を含めた雇用確保の問題
- ③eスポーツ定着に向けての推進

について活発な意見が寄せられた。

県政要望書は、本委員会での修正事項をまとめ、7月24日の第1回政策委員会での承認を経て、10月下旬を目途に茨城県に提出される。



経営教育委員会

第6期 新任管理者研修を開催

経営教育委員会（委員長 篠原智氏（株）筑波銀行専務取締役）は、第6期 新任管理者研修を茨城県産業会館にて開催。2回シリーズ（第1回・6/5（水）、第2回・6/26（水））で進められ、66名が受講した。

テーマを「管理者に求められる“リーダーシップ”“部下育成”を徹底して学ぶ」とし、講師には例年参加者アンケートでも好評の（株）ヤマオコーポレーション代表取締役の鬼澤慎人氏にご指導頂いた。

当研修の特徴として“講義を

聴く”スタイルではなく、ケーススタディを織り交ぜながら参加者同士の“ディスカッション”を中心に進められる点があげられ、アンケートでも特にこの点

が高く評価されている。ディスカッションを通じ、自らが“気づきを得る”ことをねらいとしており、今回のアンケートでも大変好評頂いた。



総務委員会

第9次中期運営要綱策定に向け協議

総務委員会（委員長 西野英文氏（株常陽銀行常務取締役）は、7月18日(木)、経協会議室で第1回総務委員会を開催。

現在の経営者協会の事業活動指針となる第8次中期運営要綱が本年度で最終年度を迎えるため、新たな要綱策定の取り組みを総務委員会が担うべく、策定に向けた検討項目(案)とスケジュール(案)について事務局から説明がなされた後、委員間

で現状の協会活動の課題等について、フリーディスカッションを行ったほか、次回委員会で現要綱の反省等踏まえた検証を行いつつ、より具体的な議論を進めることとなった。

今後は、第9次中期運営要綱の作成に向け、会員から寄せられている声や各支部・委員会・研究会で現在課題と

なっている取り組んでいる分野別のテーマも踏まえつつ、骨子の策定に取り組んでいく予定。



環境委員会

令和元年度 第1回環境委員会、環境行政説明会を開催

環境委員会（委員長 荒井徹氏 キヤノンエコロジーインダストリー(株)代表取締役社長）は、7月9日(火)、茨城県産業会館にて本年第1回目の委員会を開催した。委員会では、30年度の事業活動報告と本年度の事業活動計画案について協議がなされた。

本年度の事業活動計画として、環境経営に先進的に取り組まれている企業の見学会、また環境関連のセミナー等を実施していくことを確認した。

委員会終了後には、茨城県県

民生活環境部より、環境行政の重点施策や留意事項について解説をいただく環境行政説明会が併設され、47名が参加した(テーマおよび講師は下記のとおり)。

[テーマ・講師]

①太陽光発電施設の適正な設置・管理に関するガイドラインの改定について

【講師：茨城県県民生活環境部環境政策課係長 藤田順平様】

②令和元年度 中小規模事業所

省エネルギー診断および省エネルギー対策設備導入補助金について

【講師：茨城県県民生活環境部環境政策課係長 藤原亮様】

③霞ヶ浦の水質浄化対策における小規模事業所の排水規制強化について

【講師：茨城県県民生活環境部霞ヶ浦浄化対策監 栗田茂樹様】

④PCB廃棄物の適正処理について

【講師：茨城県県民生活環境部廃棄物対策課主事 高木明大様】

⑤県残土条例施行規則の改正について(土壌調査項目の変更)

【講師：茨城県県民生活環境部廃棄物対策課主事 久松悠理様】

⑥《注意》あなたの土地が狙われています!!土地を所有されている皆様へ

【講師：茨城県県民生活環境部廃棄物対策課主事 久松悠理様】



科学技術委員会

茨城県科学技術振興課長 宮本善光氏との意見交換会を開催



科学技術委員会（委員長 柳澤志好氏（株）日立製作所理事日立事業所長）は、7月11日（木）当協会会議室において、委員会を開催した。

当委員会では、県内のものづくり企業の技術力・製品開発力の向上を支援するために、企業間の交流や産学官連携の機会創出、科学技術・産業振興に関する行政施策に当協会会

員の意見を反映することをねらいとして事業活動を実施。

委員会開催前には、茨城県産業戦略部科学技術振興課長の宮本善光氏をお招きし、「最先端

技術の革新をリードする“いばらき”の科学技術施策」と題し、昨年11月に策定された「茨城県総合計画～新しい茨城への挑戦～」の紹介と、宇宙ベンチャー創出や県内企業による宇宙ビジネスへの新規参入の支援など、新たな宇宙産業の発展に向けたプロジェクトの内容等について紹介いただいた。

意見交換会終了後には、委員会の主要事業等について協議し、「ものづくり商談会」や「ものづくり先進企業見学会」の見学先選定などについて、検討をした。

青年経営研究会

（交流拡大委員会 研修委員会 合同例会）「広島視察会」を開催～広島歴史と産業を学ぶ～



青年経営研究会（会長 栗山武志氏 栗山電気(株)代表取締役）は、6月19日（水）～21日（金）、交流拡大委員会（委員長 増田貴之氏（有）ヘルスケアー下妻代表取締役）、研修委員会（旧研修・外交委員会 委員長 星栄一氏（株）ロケットスタートホールディングス代表取締役）の合同

例会として、広島視察会を開催。参加者は事務局含め13名。

初日の朝、一行は羽田空港に集合後、飛行機で広島空港に向かった。広島空港到着後、貸切バスで呉市内へ移動し、呉港からフェリーで初日の見学先である江田島の海上自衛隊・第1術科学校（旧海軍兵学校跡）に向

かった。江田島は、海上自衛隊の教育のメッカであり、海軍兵学校が明治に東京築地から江田島に移って以来、数多くの海軍士官を輩出してきた。現在は、海上自衛隊の幹部自衛官や海曹士自衛官の教育の場として、海軍の伝統を継承し自衛官を育成、第1術科学校では、主に艦艇術科教育を行っている。一行は、案内係の方の説明を聞きながら、海上自衛隊の歴史について学んだ。

視察2日目は、ゴルフ組と観光組に分かれ、各々、思い思いに広島歴史や文化に触れ合った。

夜は、MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島にてプロ野球観戦し、カープ野球を通してみえてくる広島県民の盛り上がりを感じた。

視察3日目は、まずMAZDAミュージアムを訪れた。同ミュージアムは、1994年5月に開館。2005年2月に展示面積を拡張し全面リニューアル。博物館はマツダ宇品第一工場に隣接している。博物館では、東洋工業時代からの歴代の製造車種やコンセプトカー、ル・マ24時間レースで優勝した787Bなど展示されており、参加者は興味深く高度な技術と車の歴史に触れることが出来た。その後、隣接する宇品第一工場の生産ラインも見学することができ、大変充実した

視察であった。その後、呉市に移動し、最後の視察先である大和ミュージアムを訪れた。当施設がある呉市は、戦艦「大和」を建造した軍港で日本一の海軍工廠のまちとして栄えた。戦後は、世界最大のタンカーを数多く建造した。当館は、明治以降の「呉の歴史」と造船・製鋼を始めとした各種の「科学技術」を紹介する博物館で、一行は零式艦上戦闘機

六二型などの貴重な実物資料を見学することで、造船・鉄鋼にて発展してきた呉の歴史について学ぶことができる視察であった。



青年経営研究会

総会を開催

青年経営研究会（会長 栗山武志氏 栗山電気㈱代表取締役）は、7月3日(水)、ローブkasumigauraにて、令和元年度総会を開催した。

総会では、栗山会長より挨拶頂いた後、30年度の事業報告&収支決算、令和元年度の事業計画(案)&収支予算(案)について、協議・承認頂いた。

併設の講演会では、「スーツをめぐる誤解と真実」と題して、(株)Kaori Nakano代表取締役 昭和女子大学客員教授 服飾史家の 中野香織氏をお招きしてお話頂いた。

中野氏は、東京大学非常勤講師やケンブリッジ大学客員研究員などを経て、現在文筆業を中心に活躍されており、新聞・雑誌・ウェブマガジンなど多媒体において連載記事を執筆すると

ともに、服飾史家として、男女ファッション史から最新モードをテーマに研究・執筆・講演活動を行っている。

講演では、これまでの男性ファッションの変遷とその歴史的な背景を中心に解説頂き、「ダンディですね、は褒め言葉になるのか」「日本の略礼服用は、世界に通用するのか」「日本人がスーツを着るようになったのは

いつ、なぜ” “日本の夏のビジネススタイル、クールビズ あるある疑問点” 等々、普段何気なく身に着けている我々のファッション一つ一つに、現在のスタイルに辿り着いた経緯と理由がある旨を解説頂き、参加者も自身のこれまでのファッションスタイルを振り返りながら談笑し合うなど、和やかな総会となった。



県内5地区・産学懇談会・名刺交換会

県内5地区で産学懇談会を開催、高校進路指導教員との名刺交換を行う

例年、茨城県産業教育振興会との共催により開催されている「産学懇談会・名刺交換会」が本年も県内各地で開催された。5月29日(水)の県南地区(※73名参加)開催を皮切りに、県北地区(※57名参加)が6月6日(木)、水戸地区(※84名参加)が6月14日(金)、鹿行地区(※113名参加)が6月19日(水)、県西地区(※90名参加)が6月25日(火)で実施された。

同事業は、来春卒業の高校生の採用を検討している企業の人事採用担当と、県内高校の進路

指導の先生方が一堂に会し、企業の採用計画や高校の就職希望生徒の希望職種等について情報交換がなされた。地区によっては、小グループに分かれてのディスカッションを併設し、生徒の就業意識や早期離職等について意見交換がなされた。

参加企業からは「先生方と長時間話し

をする機会は殆どなく、最近の生徒の傾向や学校の取り組みなど、新たな情報を得られる良い機会となった」といった感想が寄せられた。



共通セミナー

職場リーダーグレードアップセミナーを開催



当協会は、全支部共通で7月12日(金)、茨城県産業会館にて「職場リーダーグレードアップセミナー」を開催した。参加者人数は83名。

本セミナーでは「部下のやる気と企業の活力を高めるノウハウ～部下育成のコーチングとメ

ンタルヘルスマネジメントなどを学ぶ～」と題し、毎年受講生から好評の(株)ビジネスラポール代表取締役の鈴木丈織氏より指導いただいた。

セミナーの内容は、午前中に「リーダーの自覚・役割・心構え」「コーチングのポイントとテクニック」などを講義で学んだ後、午後には、グループディスカッションを行い、部下育成の課題等を共有しグループ事に発表した。

参加者からのアンケートでは「リーダーとしての役割や部下の心理など、自分の知らなかった事や自分に足りなかった事を学ぶことができました。また、対人関係の大事さは理解してい

るつもりでしたが、心理学の専門の先生から話を聴いて大変参考になり、以後、裏付けあつての行動を大事しようと思いません」「先生の講義と異業種の方々とグループワークを通じて、リーダーとして部下や組織と向き合う、行動指針が明確になりました。指示の出し方一つで、これ程までに変わるのかと驚いています。今まで部下のポテンシャルを引き出してあげていなかった事を痛感したため、今後、部下への対応を改めて行きたいと思えます」など、講師からの講義やグループディスカッションから認識を深めた参加者がいた。

新入会員紹介

株式会社シーケム 鹿島製造所

■所長 渡邊 健二



Data

所在地/茨城県鹿嶋市光3番地
(日本製鉄 (株)鹿島製鉄所構内)
TEL/0299-84-3533
業 種/化学工業
(タール蒸留製品製造)
従業員/39名

Appeal point

弊社は、日鉄ケミカル&マテリアル株式会社の子会社として、石炭から得られるコールタールを原料とし、様々な炭素材製品や基礎化学品を開発・製造しております。

鹿島製造所では、主に日本製鉄株式会社鹿島製鉄所様のコークス製造により発生するコールタールを原料として高付加価値製品用の素材原料を製造しています。

本会で戴いた情報を製造所運営に活かして行きたいと思っております。今後ともご指導ご支援の程、宜しくお願いします。

関彰エンジニアリング株式会社

■代表取締役会長 松本 哲夫



Data

所在地/つくば市東新井12-2
TEL/029-858-7311
業 種/空調・衛生設備工事業
従業員/77名

Appeal point

弊社は官公庁施設、医療介護施設、大型商業施設などにおける空調設備および衛生設備の設計から施工、メンテナンスまでを一貫してサポートしています。2007年に分社致しましたが、セキショウグループが空調設備の取り扱いを開始したのは1963年、以来一貫して地域の皆さまに快適な環境を提供するために安全で高品質な設備工事の施工を使命として取り組んで参りました。

この度の入会を機に、多くの情報を頂き、学ぶことで私たちが目指す姿「地域に根ざした総合エンジニアリング企業」に近づきたいと考えております。宜しくお願い申し上げます。

日本アドバンスロール株式会社

■代表取締役 長野 秀樹



Data

所在地/ひたちなか市堀口832-2
TEL/029-271-1115
業 種/機械器具製造業
従業員/171名

Appeal point

日本アドバンスロール株式会社は、2018年3月に新たな一步を踏み出した「鍛造ロール専門メーカー」です。弊社は、株式会社日立製作所の鍛造ロール部門として培った60年を超える経験と実績を生かし、お客さまや時代のニーズにお応えし、開発から製造、販売ならびに保守・サービスをワンストップでご提供する“ベストパートナー”となるべく、従業員一同、まい進しております。

この度の入会を機に、今後皆様からのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

出向者退任のお知らせ

7月末日をもちまして、(株)常陽銀行様から協会事務局にご派遣頂いておりました藤井研一氏が退任致しました。藤井氏の協会運営に対しますご尽力に厚く御礼申し上げますとともに、藤井氏をご派遣頂きました(株)常陽銀行様に重ねて厚く御礼申し上げます。



藤井 研一 氏

平成28年8月の経営者協会事務局着任以来、3年という月日が過ぎるのは、あっという間でした。この間、会員の皆様はじめ県内外の多くの方々とお会いし、見聞を広める機会を頂きましたこと深く感謝申し上げます。

また、着任以来、毎月会員数を増加し続けることが出来たことは、ひとえに皆様の方強いご支援、ご指導の賜物と心より御礼申し上げます。

常陽銀行に戻りましても、この3年間で受けた数々のご恩に報いることが出来るよう精一杯務める所存です。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

3年間本当にありがとうございました。

出向者着任のお知らせ

8月1日付で(株)常陽銀行様より佐藤正樹氏を協会事務局にご派遣頂きました。令和3年7月末までの2年間協会運営にご尽力頂きます。



佐藤 正樹 氏

8月1日付で(株)常陽銀行より協会事務局に派遣されました佐藤です。協会運営の担当業務は、総務委員会、地域関係委員会、科学技術委員会、および常陸・那珂地区支部、県西地区支部、古河・坂東地区支部となります。

微力ではありますが、地域の為、会員の皆様のお役に立てますよう精一杯頑張りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

茨城労働局長から感謝状 宮本製作所代表取締役 宮本洋治氏に 授与されました

茨城地方最低賃金審議会委員として労働行政の推進に寄与された功績を評価され、宮本洋治氏に福元茨城労働局長から感謝状を授与されました。

宮本洋治氏は平成21年4月から茨城地方最低賃金審議会の使用者代表委員として茨城県最低賃金（地域別・産業別）の改正審議に積極的に協力し、最低賃金の決定に貢献されました。



心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

ESQUIRE
エスクワイア



茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町 1887 〒310-0851

TEL 0120-090110

<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



労働相談から見える職場のトラブル

茨城労働局 雇用環境・均等室 室長補佐（指導） 大久保 一樹氏

当室では、さまざまな労働相談を受け付けており大学生・専門学校生からのアルバイトに関するものも少なくありません。

学生アルバイトは、社会、人間関係を学ぶ良い機会であり、多少のトラブルはつきものだ、などと言われることもありますが、社会人になる前に、会社、働くことへのマイナスイメージが先行してしまうことは、受け入れる会社側にとっても良くないことなのではないでしょうか。

学生アルバイトに関するトラブルは、労働法に関する知識が乏しいことが原因となっているものが多いので、各都道府県労働局では大学・専門学校等へ働きかけ、学生等を対象とした労働法セミナーを実施させていただいています。

学生アルバイトでこんなことがありました・・・

【労働法セミナー受講者からの相談事例】

CASE① コンビニ・レジ接客



2月中旬ごろ、店長に対して、就職活動があるので3月末で辞めたいと話しましたが、人手不足を理由に退職を認めませんでした。

そこで、仕方なく母親から店長に電話を入れたところ、GW明けには辞められることになったのですが、GWまでに新しいアルバイトが入らず、GW以降も引き続き働いてくれと言われました。

このままだと就職活動にも影響があるので、もっと早く辞めたいのですが・・・

CASE② ラーメン店・店員



休日の昼時間のみ4時間のアルバイトをしています。

途中15分の休憩があることになっているが、実際にはお客さんが多く、ほとんど休むことはできない状態だった。

賃金計算では、15分の休憩時間を差し引いた3時間45分の賃金しか支払われていなかったため、4時間分の賃金を支払うよう要求したが応じてもらえず、店長、マネージャーからのパワハラが始まり、休憩のことを話せなくなりました。

【学生が会社選びで一番重要視するのは「労働環境」】 ※1

茨城労働局では、平成24年度から県内各大学等に労働局職員が出向き労働関係の基礎知識について教授する「出前講座」を開催してきましたが、平成30年度は11大学等(筑波学院大学、茨城キリスト教大学、朝日国際医療福祉専門学校、茨城大学、水戸経理専門学校、水戸電子専門学校、常磐大学、茨城女子短期大学、茨城産業短期大学、筑波技術大学、茨城県農業大学校)で開催し、計1,471名の学生が受講しました。その際に、受講した学生に「就職する会社選びで一番重要視する項目」「働く上で最も知っておきたい知識」などについて無記名のアンケート調査を実施し、1,446名から回答(回答率98.3%)を得ました。そのアンケート調査の主な結果は次のとおりです。

会社選びで一番重要視する項目

トップ3は

「労働環境」「休日・休暇」「仕事内容」

第1位	労働環境	14.2%	(206人)
第2位	休日・休暇	12.7%	(183人)
第3位	仕事内容	9.1%	(131人)
第4位	賃金	8.6%	(124人)
第5位	労働時間	6.0%	(87人)
第6位	福利厚生	3.5%	(50人)

働く上で知っておきたい知識

トップ3は

「休日・休暇」「労働時間」「賃金」

第1位	休日・休暇	76.6%	(1,108人)
第2位	労働時間	70.3%	(1,016人)
第3位	賃金	61.8%	(893人)
第4位	労働環境	57.7%	(835人)
第5位	残業	55.6%	(804人)
第6位	仕事内容	51.5%	(745人)

【茨城労働局がバイトトラブル事例集の監修を行いました！】 ※2



上のCASE①～②は、学生向けの労働法セミナーを行ったときにアルバイトでのトラブル事例を募集したものです。これらを含めいろいろな事例が寄せられたので、対応法などとともにマンガでまとめた事例集を作成することになり、茨城労働局が監修を行いました。

今後、このトラブル事例集を活用し、大学・専門学校等での労働法セミナーを拡大させていきます。

※1 茨城労働局発表 令和元年5月31日(金)【照会先】茨城労働局雇用環境・均等室 (電話)029-277-8294

※2 事例集制作・イラスト提供 学校法人八文字学園 水戸電子専門学校 情報メディア学科

NPO情報

NPO information

Vol.226

空家のリノベーションの可能性

茨城NPOセンター・コムズ 代表理事 **横田 能洋氏**



常総で水害後に空き家になっていた診療所の改修が今年度はじまりました。まず、屋根を張り替え、カビが多かった壁や仕切りを閉し、手術室をキッチンに改修。外壁の塗装。ここまでは大工さんに依頼しました。

診療所は半分がコミュニティカフェになります。地域のファミリーレストランがなくなりお茶する場はほしいという声があるからです。もう半分は防災や災害復興を学ぶ場、外国籍住民が日本の言葉、制度や手続きを学べる場になる予定です。

診療所の改修で1千万円、工務店に払いましたが、その金額では全部改修できません。そこで室内のペンキ塗りボランティアを募集。栃木県の白鷺大学のボランティアやパルシステム茨城栃木の方々が来てくれました。これまでも何度も来てくださっている方々です。空き家が徐々に生まれ変わっていく過程が見られて達成感があると言ってくれ

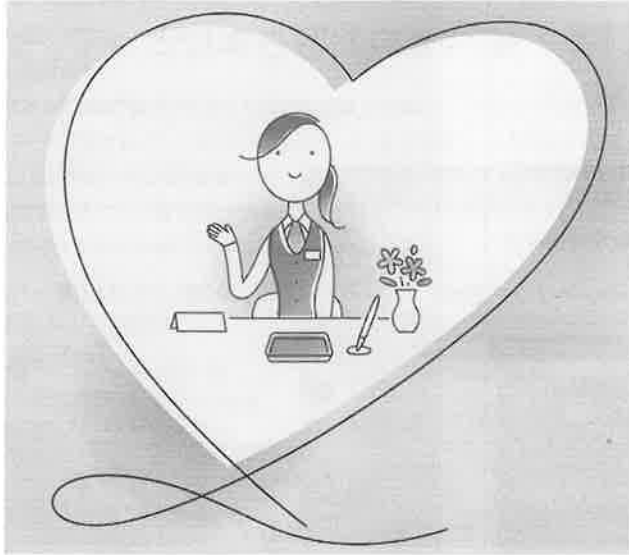
ます。私たちは災害で傷ついた人の心やコミュニティの再生のために、目標に向かって一緒にすることに意味があり、それに“空き家改修”はふさわしいと思って活動しています。

毎回、ボランティアの作業の日には地域の主婦の方が心の籠った昼食を作ります。さらにスリランカの方がカレーを作ってくれたり、県内の学校で英語の講師をしている方も飛び入りできてくれました。

入り口のウッドデッキは、本を見ながら材料を揃えたものの私ひとりでは作れません。そこに当会が運営する多文化保育園に子どもを預けてくれているブラジルのお父さんが手伝いに来てくれて1日で完成しました。人の力はすごいと感じました。

地域には沢山の空き家があります。そこを色々な人が集える場として再生する活動が広がればと思います。活動に参加、支援いただける方はご連絡ください。

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、未来に向かって力強く前進いたします。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

筑波銀行

検索する



筑波銀行

Tsukuba Bank

経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

開催日 毎週木曜日 ①10:00~12:00
(祝日は除く) ②14:00~16:00

会場 経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

Flow chart

賃金関係 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか？

労働組合 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか？

助成金制度 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか？活用できる助成金制度について教えて欲しい。

人事労務 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

精神疾病 メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか？

その他 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関するこの課題全般の悩みについて。

人事労務相談室
が総合窓口
(ワンストップ)

課題解決に最適な専門家を紹介

協会・顧問弁護士
大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営
コンサルタント

その他
各専門家

お問い合わせ：一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)
TEL: 029-221-5301 FAX: 029-224-1109
E-mail gotou@ikk.or.jp